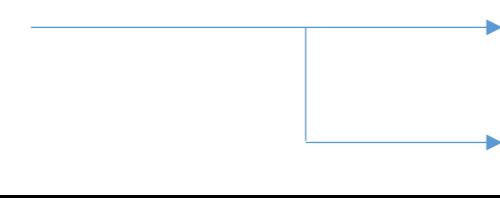




第3期千葉県教育振興基本計画の理念について

項目	第2期	変更理由 変更しない理由	第3期
計画名	新 みんなで取り組む「教育立県ちば」プラン	今後検討	—
千葉県教育の目指す姿	子供の目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> ・新学習指導要領の理念「社会に開かれた教育課程」の実現や、「家庭の教育力の向上」が課題 ・多くの懇話会委員が「学校教育の課題」や「地域の教育資源を活用した教育の重要性」を指摘 	子供の目指す姿
	学校・家庭・地域の目指す姿		学校の目指す姿
	県民の目指す姿		家庭・地域の目指す姿
基本的な取組方針	「ふれる」、「かかわる」、そして「つながる」 ○ 子供たちが、豊かな自然や多くの人々、様々な知識や技能にふれ、かかわり、つながっていくことが必要です。 ○ また、子供たちの教育に直接携わる学校や家庭はもとより、地域の住民や企業なども「全ての大人が子供の育成にかかわる」という自覚を持ち、つながることによって、互いに支え合うコミュニティを形成することが、地域全体の教育力の向上につながります。	<ul style="list-style-type: none"> ・知事の1期目の公約に基づき設置された「千葉県の教育を元気にする有識者会議」で示された「提言を貫くメッセージ」 	「ふれる」、「かかわる」、そして「つながる」 ○ 子供たちが、豊かな自然や多くの人々、様々な知識や技能にふれ、かかわり、つながっていくことが必要です。 ○ また、子供たちの教育に直接携わる学校や家庭はもとより、地域の住民や企業なども「全ての大人が子供の育成にかかわる」という自覚を持ち、つながることによって、互いに支え合うコミュニティを形成することが、地域全体の教育力の向上につながります。 ○ さらに、2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会を契機として、世界中の人々とつながることができるように、学校はもとより全ての県民一体となって「教育立県ちば」の実現を目指します。
	ただし、2020年3月に策定する計画であるので、2020東京オリパラを契機として一層の推進を図ることを加筆	変更しない	
基本目標	志を持ち、失敗を恐れずチャレンジする人材を育てる	<ul style="list-style-type: none"> ・4つの「目指す姿」に対応した4つの目標 ・県民に「ちばの教育の力」で「目指す姿」を実現するという力強い、直接的で、わかりやすいメッセージ、宣言 	【子供の目指す姿】 ちばの教育の力で、志を持ち、未来を切り拓く、ちばの子供を育てる
	ちばのポテンシャル(潜在能力)を生かした教育立県の土台づくり		【学校の目指す姿】 ちばの教育の力で、「誇り」と「安心」を育む学校をつくる
	教育の原点としての家庭の力を高め、人づくりのための力をつなげる		【家庭・地域の目指す姿】 ちばの教育の力で、家庭と地域の絆を深め、全ての人が活躍できる環境を整える
			【県民の目指す姿】 ちばの教育の力で、世界を舞台に活躍する人材を育成し、「楽しい」「喜び」に満ちた社会を創る (郷土・グローバル、スポーツ、文化)
		「ちばの教育の力」で、10年後(2030年)の千葉県の「目指す姿」を実現する。	
		※「ちばの教育の力」 千葉県のポテンシャル(潜在能力)を活用した教育	